



福山市立大学研究生で学び直し!! **連載**

意見広告

# 村上 栄二です。

各種SNSやってます!

プロフィール

りじょう幼稚園、福山市立新涯小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市議員(1期)を務める。2015年6月からは「地元に戻りたい」想いで福山に戻る。広島県議会議員。

## 【地域で・企業が・ワクチン接種者】によるコンプライアンスがしっかりしている企業市民が、段階的に経済を回す一翼を担って頂くことから始めるべきだ。

まえがき

- 1: ワクチン接種率が50%を超え、新たな「withコロナ」のライフスタイル段階に至る。
- 2: その際、段階的な緩和策により日常や地域経済を取り戻すことが重要(一気にGoToトラベル・イートまで緩和するのはリスクが高すぎる)。
- 3: 長引くコロナ禍で疲弊している地域経済を復活させることが最重要課題。
- 4: 福山駅前の飲食店・宿泊業は企業利用が多く、企業活動の復活が無ければ福山の個性豊かな職人たちによる食文化が衰退する。(フランチャイズの店ばかりになってしまう)。
- 5: 従って、まずはコンプライアンスがある企業人・ワクチン接種者から経済を回すべき。
- 6: シンガポールはワクチン接種80%でも市中感染が急増しており、段階的に緩和するwithコロナ行動様式を踏まえた施策実施が行政の役割だ。
- 7: 同時にワクチン接種向上の流れを起こすべき。

現状の課題点と背景

- ・女性や学生など非正規雇用やアルバイトの人たちはコロナ禍でシフトや勤務時間が減らされ収入減に至っている。
- ・飲食店の休業や営業時間短縮等に伴い、路上飲み、グループ飲みなど家庭内感染が増えている。
- ・福山駅前は企業利用の飲食店などが多く、企業内での通達により外食機会は減るために駅前飲食店はコロナ禍による影響をより鮮明に受けている。
- ・経済センサス(2016年)によれば、福山市の企業15556社のうち1730社が宿泊業・飲食サービス業であり、これに関連する小売業・卸売業・流通業などを考えると経済を回す政策を作るべき。

政府・自治体における対策の課題

- ・政府への不信はダブルスタンダードから来ている。
- ・抗菌・滅菌や自粛など“抵抗力が落ちる政策”ばかりで日本人は虚弱化する。(私は運動・サウナ・毎日12000歩・有機野菜摂取で免疫力を高めている)。
- ・休業(支援協力金の給付)によってコア客離れを起こしている。
- ・生活福祉資金制度による緊急小口貸付の返済は2年後から始まる。
- ・1年が経ち借入金をどうするか? 経営続行するのか? それとも借金を背負うが出口が見えない中でさらに借入金を増やすのか?

賃貸マンション、月極駐車場  
「空き」あります!

# Consort homes

お問合せ

有限会社 DC 開発研究所

☎ 084-999-3166

〒720-0052 広島県福山市東町2-3-2